



871B333A10

Q CELLS

住宅用太陽光発電システム カラーモニター用

発電電力計測用電流センサー

形名

PV-DC01-HQ

据付工事説明書


販売店様・工事店様用





この発電電力計測用電流センサー（以下、電流センサー）は住宅用太陽光発電システム カラーモニター（形名：HQ-D-M06）で外部発電機（エコウィル・エネファーム）、適合外パワーコンディショナの発電電力・定置型蓄電池の充放電電力などを計測する場合に使用します。

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
- 据付工事の前に、この据付工事説明書を必ずお読みください。
- お客様自身での工事は、故障や事故の原因になります。据付工事は、必ず、第二種電気工事士の資格を有する販売店様・工事店様が行ってください。
- この据付工事説明書に記載されていない方法で工事された場合、また当社指定部品を使用せず工事された場合に生じた故障や事故については責任を負いかねます。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
 分解禁止	分解・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。
 水ぬれ禁止	製品に水をつけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因になります。
 接触禁止	配線途中の電線や端子の充電部を素手で触らない 感電の原因になります。
 禁止	本製品を住宅用太陽光発電システム以外に使用しない 火災・けがの原因になります。

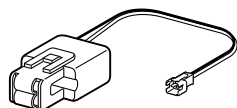
 注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
 禁止	同梱部品以外は使用しない 故障の原因になります。 直接炎のあたる場所や油煙、有機溶剤のある場所には据付けない 火災、変質、変形の原因になります。
 浴室での使用禁止	浴室など湿気の多い場所には据付けない 感電および故障の原因になります。
 指示に従い必ず行う	配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因になります。

お願い 守られない場合は製品故障の原因になります。

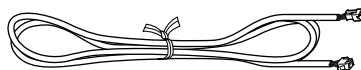
- 屋外または車庫、納屋など、屋外環境に近い場所には据付けないでください。
- 過度の水蒸気、油蒸気、煙、じんあい、塩分、腐食性物質などが存在する場所には据付けないでください。
- 電気配線が高温部分に触れないようにしてください。 ● 電気配線が鋭い角部に触れないようにしてください。

同梱部品

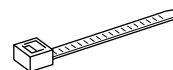
- 電流センサー……………1個
(電流センサー取付電線外径φ10mm以下)



- 電流センサー用接続ケーブル ……1本

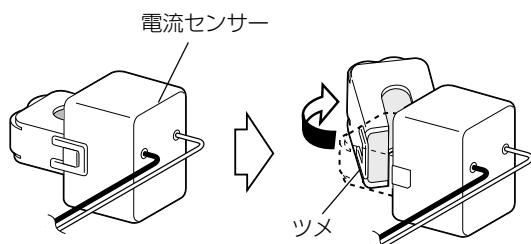


- コードバンド……………1本



据付方法

1. 電流センサー用接続ケーブルの配線



1 電流センサークランプ部のツメをはずして開く

お願い

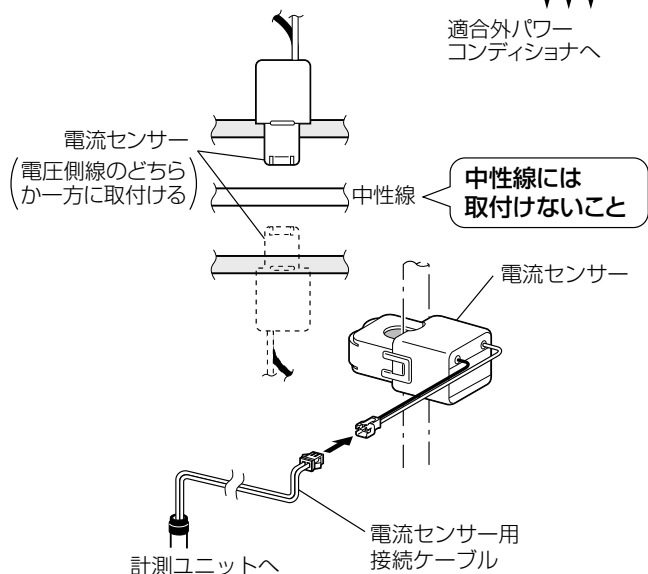
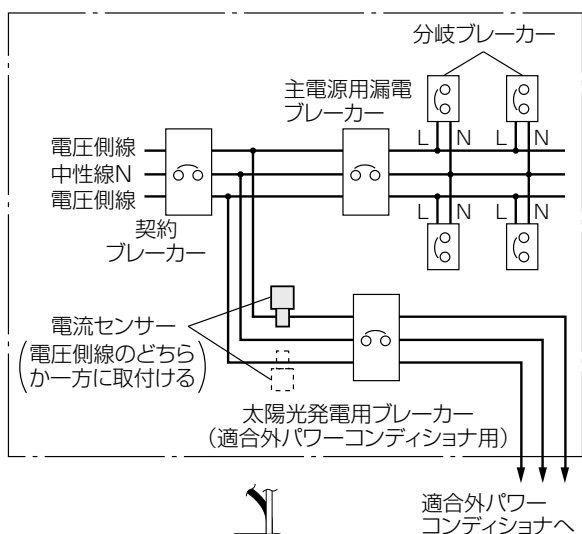
- 電流センサーは外径φ10mm以下の電線の真っすぐな部分に取付けてください。
- φ10mmよりも太い電線や曲がった部分に無理に取付けると、正しく電流を検出できなくなります。

2 分電盤内の電圧側線に電流センサーを取付ける

- 分電盤内に設置してある適合外パワーコンディショナ用ブレーカーの電圧側線に電流センサーを取付けてください。(中性線Nに取付け不要をお気をつけください)
- 電流センサーを取付ける際、クランプ部を「カチッ」と音がするまでしっかりロックしてください。
- クランプ部に異物をはさまっていないことを確認してください。

お願い

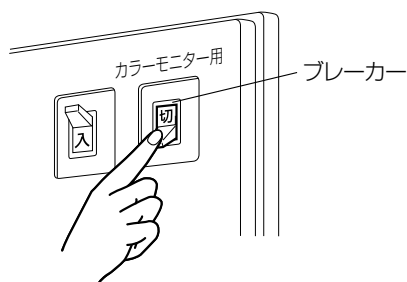
- エネファーム、エコウィルなどパワーコンディショナ以外の機器の場合は「カラーモニターと太陽光発電システムの構成例」(P.4)を参照してください。
- 必ず電線の被覆のついた部分をはさみ込むように取付けてください。
充電部が露出した部分に取付けると、感電・故障の原因になります。
- クランプが不十分な場所や、φ10mmよりも太い電線や曲がった部分に無理に取付けると、正しく電流を検出できなくなります



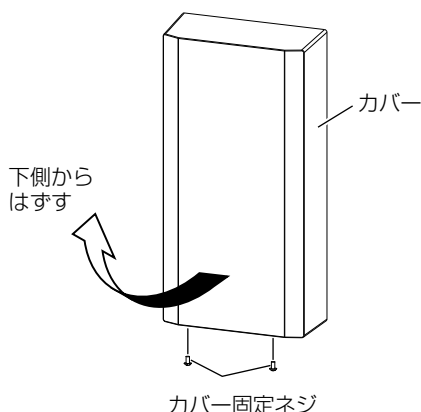
3 電流センサーと付属の電流センサー用接続ケーブルを接続する

- 電流センサー用接続ケーブルの保護チューブがない方のコネクターと電流センサーを接続してください。

2. 計測ユニットとの接続



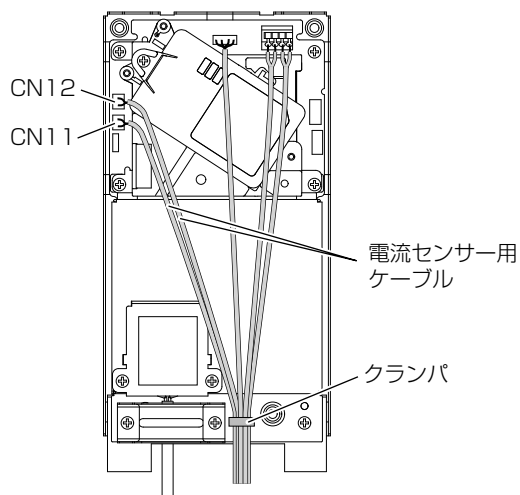
- 計測ユニットに電流センサーを接続します。
- PV-DC01-HQ（本製品）を最大2台（1台あたり10kWまで計測可能）まで接続して発電電力を計測することができます。
- 設置してあるパワーコンディショナ、外部発電機の電源を「切」にしてください。
- 分電盤のカラーモニター用ブレーカーを「切」にしてください。



1 計測ユニット下面のカバー固定ネジ2本をはずし、カバーをはずす

- カバーを下側からはずしてください。

※カバーをはずした内部図



2 計測ユニット本体の下表のコネクターに電流センサー用接続ケーブルを接続する (詳しくはHQ-D-M06の据付工事説明書をご覧ください)

名称	接続コネクター	
適合外 パワーコンディショナ	1台設置	CN11
	2台設置	CN12
他の発電機 (エコウィル・エネファームなど)	CN11, CN12	
定置型蓄電池	CN11, CN12	

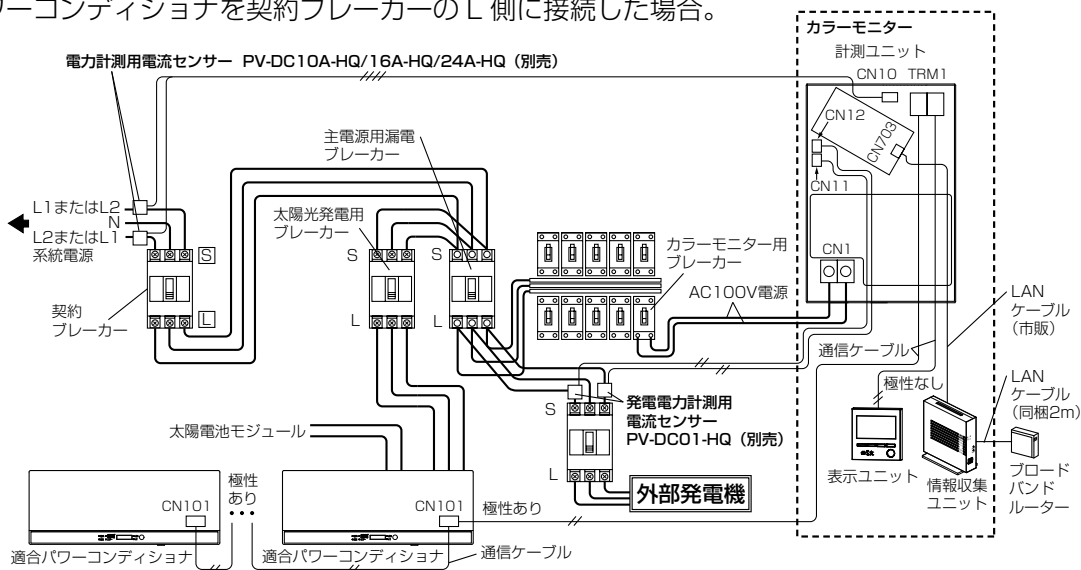
3 図のように、各コネクターに接続したケーブルをクランパでしっかりとまとめ、計測ユニットのカバー固定ネジ2本でカバーを取付ける

3. 機器接続設定

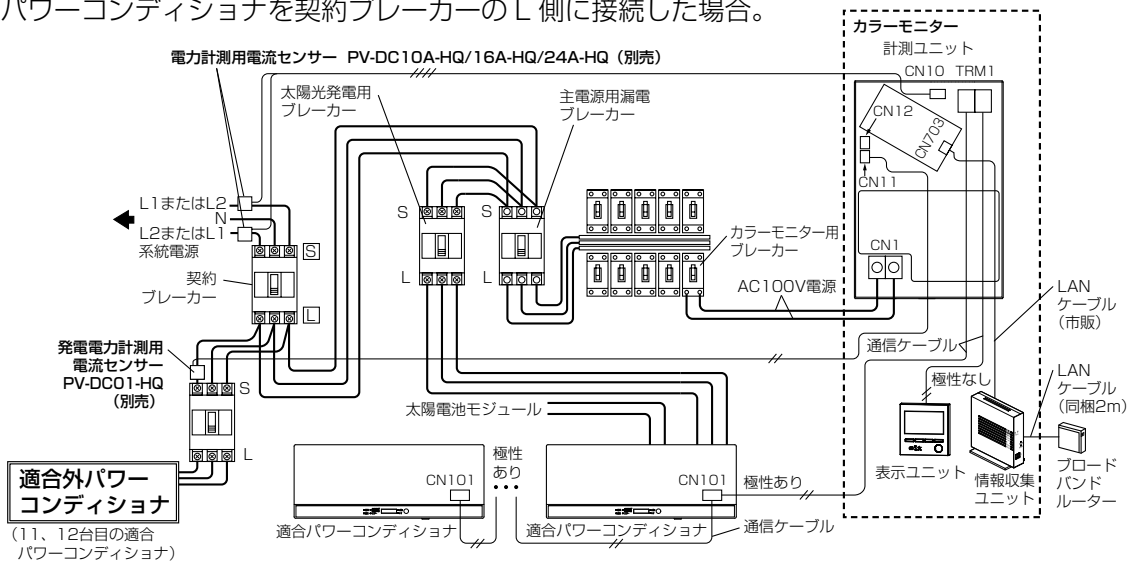
カラーモニター本体の据付工事説明書に従って、機器の設定をする

カラーモニターと太陽光発電システムの構成例

- 他の発電機（エコウィル、エネファームなど）がある場合。（電流センサーを2個使用します）
- パワーコンディショナを契約ブレーカーのL側に接続した場合。



- 適合外パワーコンディショナがある場合。（適合外パワーコンディショナ1台につき、電流センサーを1個使用します）
- パワーコンディショナを契約ブレーカーのL側に接続した場合。



故障かな？と思ったら

症状	原因・処置	
消費電力または発電電力の数値がおかしい	電流センサーが付いていない	電流センサーのクランプがしっかりとロックされているか確認してください。
	電流センサーの取付け位置が間違っている	適合外パワーコンディショナ用ブレーカーの電圧側線に付いているか確認してください。中性線に付いていると正しく表示できません。
	パワーコンディショナとの通信ができていない	適合パワーコンディショナ通信用ケーブルの接続を確認してください。
	機器接続設定ができていない	カラーモニター本体の据付工事説明書に従って、機器接続設定を行ってください。
	電流センサーに異物がはさまっている	異物を取り除いてください。

ハンファQセルズジャパン株式会社

〒108-0014 東京都港区芝4丁目10番1号 ハンファビル9階

この説明書は、再生紙を使用しています。